

桜が教えてくれたカタクリで 地域づくり

1

社会資本の概要

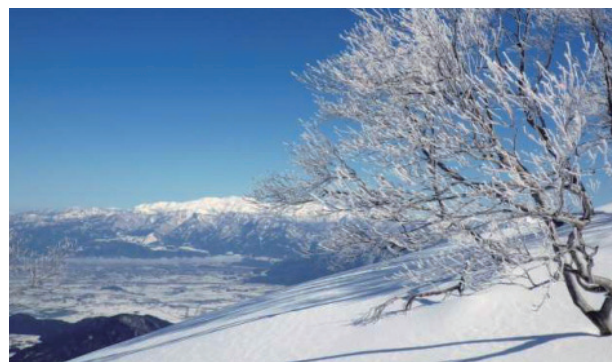
福井県大野市は、県の東部に位置し、市の8割は森林で豊かな水と自然に恵まれた盆地です。近年では、大野市にある越前大野城が雲海に浮かぶ「天空の城」として有名です。中心市街地は、戦国時代に織田信長の配下、金森長近公により整備された城下町です。

一級河川九頭竜川水系の日詰川は、大野市上丁か

ら牛ヶ原地先にて赤根川に合流する、大野市西部の田園地帯を流れています。また、主な活動地域の矢地区は、大野盆地の最北部に位置し、居住地区の背後は大野盆地を取り囲むように山々が連なっています。昔から矢地区の人々は山とのつながりを大切に暮らしてき来ました。



越前大野城



豊かな水と自然の大野市

2

取組の背景、取組概要と創意・工夫

地域資源がない危機感から地域興しのために、地区全体を桜の名所にしようと目標を設定し、桜の植樹を開始しました。植樹した桜は切り花として商品化を試み、現在では需要に供給が追いつかない程の産業にまで成長しています。この取り組みの中で、里山整備中にカタクリの群生地が発見されました。大切に育てあげ、現在では100万本に繁殖し西日本最大の生息地となり、観光客の人気を集めています。

地域一帯を花と緑の里「矢ばなの里」と愛称をつ

け、市道沿いにアジサイなど四季を通じて花木を楽しめるようにしています。かたくりまつりには県内外から多くの方が来場され、地元区民と来場者が交流することが、イベント継続の力となり、地域の絆と地域への愛着が強まりました。また、イベントではそば打ちや名物・農作物の販売など、他分野の人々との交流や外部からのイベント参加者とも交流することで、地域の良さを再確認いたしました。活動を通じて希薄だった地区内の交流も深まっています。



ボランティアを募り桜を植樹



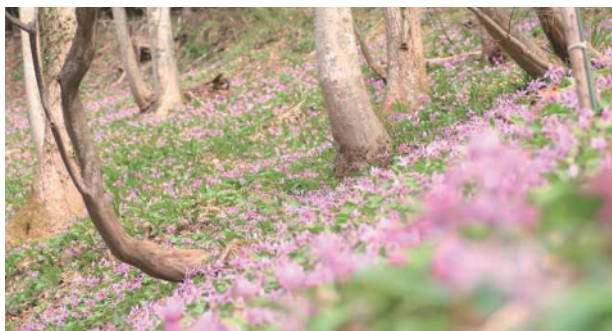
矢ばなの里を周年花と緑のある地域に



福井県大野市 矢環境緑化実行委員会

3 活動の成果や波及効果等

桜の管理中にカタクリの群生地を発見し、凄い地域資源があることに気づきました。カタクリの花は人気があり、遠方から観光バスで多くの方が来てくれます。また、整備協力金を集める様になり、当初ボランティアだった作業やイベント動員へ、わずかながら手当を支給できる様になり、独自の活動が行える様になりました。今では切り花用の桜といえ「矢」というイメージがつき、桜からカタクリまで春の流れが定着しつつあります。



100万本のカタクリの群生地



かたくりまつり

喜びの声



受賞者

矢環境緑化実行委員会
委員長 宮本 敬一

コメント

第30回記念の公開審査会が東京であり、矢環境緑化実行委員会も参加させていただきました。結果、見事栄誉ある大臣表彰に輝くことができ、区民一同大変喜んでおります。里山を整備し、桜を植えていたかたわらで見つけたカタクリの群生地。手入れし「かたくりまつり」ができるまでになりました。名誉ある賞をいただけたのも行政の温かいご指導のおかげです。これからも賞に恥じないよう精進していく覚悟です。

活動内容

桜などの植樹と管理、里山整備、かたくりまつりの開催 など

活動の経緯

平成18年 里山整備開始
平成21年 かたくりまつり開始
平成25年 活動拠点施設の開設

所在地

福井県大野市矢

活動主体及び連絡先

矢環境緑化実行委員会
(0779-66-5949)

対象となる社会資本

一級河川 日詰川
※管理者：福井県



手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集